



2022年5月16日

各 位

会 社 名 株式会社ハイパー
代表者名 代表取締役社長 望 月 真貴子
(コード番号：3054)
問合せ先 取 締 役 江 守 裕 樹
(電話：03-6855-8180)

(訂正・数値データ訂正) 「2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、2021年11月12日に開示いたしました「2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2022年5月16日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイパー
 コード番号 3054 URL <https://www.hyperpc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 望月 真貴子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田邊 浩明 TEL 03-6855-8180
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	15,396	△5.1	54	△75.1	42	△80.1	38	△72.5
2020年12月期第3四半期	16,225	△15.1	218	△47.4	212	△49.0	140	△45.8

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 39百万円 (△71.6%) 2020年12月期第3四半期 138百万円 (△46.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	4.17	4.07
2020年12月期第3四半期	15.77	15.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	6,661	3,456	50.9	350.17
2020年12月期	6,799	3,151	45.2	341.78

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 3,389百万円 2020年12月期 3,074百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	4.50	—	4.50	9.00
2021年12月期	—	4.50	—		
2021年12月期（予想）				4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△1.6	150	△44.9	140	△48.6	130	△28.7	13.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）株式会社セキュリティア

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	9,812,500株	2020年12月期	9,127,500株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	132,408株	2020年12月期	132,408株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	9,238,601株	2020年12月期3Q	8,884,068株

(注) 期末自己株式数には、「三井住友信託銀行株式会社（信託口）（再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行（信託口）」が保有する当社株式130,000株が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、企業の業績は持ち直しの動きがみられたものの、一部で弱さが増しております。また、内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりや金融資本市場の変動等の影響など、先行きに不透明な要素が見られました。

当社グループが属するコンピュータ販売業界におきましては、パソコンの買い替え需要の低迷や企業の設備投資減少による影響を強く受けております。また、ノートパソコンの需要を伸ばさせ、市場全体の下支えをしてきた小中学校向けのGIGAスクール構想による導入が終了、加えて在宅勤務等のテレワーク需要が一巡したことにより、市場全体が大幅な縮小傾向で推移いたしました。

このような環境のもと、顧客ニーズが高まるセキュリティ関連事業への継続的な取り組みやテレワーク需要に対応した製品・サービスの販売に注力してまいりました。また、当社独自の在庫販売戦略を継続しつつ、ソリューション営業、ストックビジネスの強化や各メーカーとのアライアンス強化等を図ることにより、事業の収益力の継続的な向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,396,203千円（前年同四半期比5.1%減）、経常利益は42,258千円（前年同四半期比80.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は38,502千円（前年同四半期比72.5%減）となりました。

各セグメント別の営業の概要は次のとおりであります。

① ITサービス事業

法人向けコンピュータ市場においては、新型コロナウイルス感染症の影響から企業活動の抑制など、市場における投資需要は先送り傾向が続いております。また、ノートパソコンの需要を大幅に押し上げてきた小中学校向けのGIGAスクール構想による導入が終了したことや、在宅勤務等のテレワーク需要が一巡したことにより、市場全体が大幅な縮小傾向で推移、加えて世界規模の半導体供給不足などの問題も続いており、部材不足による顧客ニーズのあるパソコンが提供できない状況は解消されておらず、法人市場は大変厳しい状況が続いております。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症による急激な需要の変化に適応した在庫の調達を行いつつ、エンドユーザーへの販売を強化、テレワーク需要に対応した製品やサービスの販売に注力するなど、感染拡大予防策を講じながら営業活動を行ってまいりました。また、世界的なサイバーセキュリティ対策が急務な中、企業の情報漏えい事件が相次いだことにより、国内でもセキュリティ対策への投資意欲は高まりを見せており、当社グループにおいてもこのジャンルには引き続き注力してまいりました。しかしながら、緊急事態宣言の影響により大型案件の長期化、ペンディングなどでパソコン需要が低迷したことや半導体不足による顧客ニーズのあるパソコン本体等ハードウェアの供給不足が当初の想定以上に広範囲かつ長期間に及んでいることなどから売上が減少傾向で推移することとなりました。また、将来の経営・企業の継続的な発展を見据えた先行投資としての人件費及び求人関連費用の増加もあり前年同四半期に比べ営業利益が大きく減少いたしました。

その結果、売上高は8,420,562千円（前年同四半期比13.0%減）、営業損失は29,919千円（前年同四半期は、営業利益169,293千円）となりました。

② アスクルエージェント事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、既存取引先の稼働促進や新規取引先の拡大などの営業活動を、訪問主体からITを活用したWeb商談等に置き換えることにより生産性の向上に努めるとともに、継続して先行投資を行ってまいりました。

新型コロナウイルスの緊急事態宣言地域の拡大により一部で影響を受けたものの、売上高、営業利益は堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は6,909,918千円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益は87,626千円（前年同四半期比146.6%増）となりました。

③ その他

当社グループは、就労移行支援事業及び放課後等デイサービス事業を3施設運営しており、職業訓練・就労支援に関するサービス及び児童・生徒の発達支援に関するサービスの提供を行っております。啓発活動などの利用者促進策に注力してまいりましたが、一部事業において期中の利用者数に持ち直しの傾向がみられたものの、緊急事態宣言の影響などで、利用者数の減少傾向が続きました。

その結果、売上高は6,909,918千円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益は87,563千円（前年同四半期比144.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて138,894千円減少し、6,661,103千円

となりました。

流動資産の残高は6,173,979千円となり、前連結会計年度末と比べ142,853千円の減少となりました。これは主に「商品」が増加したものの「売掛金」及び「現金及び預金」が減少したことによるものです。

固定資産の残高は487,123千円となり、前連結会計年度末と比べ3,958千円の増加となりました。これは主に「無形固定資産」が減少したものの「有形固定資産」及び「その他(投資その他の資産)」が増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて443,235千円減少し、3,204,955千円となりました。

流動負債の残高は2,693,171千円となり、前連結会計年度末と比べ330,401千円の減少となりました。これは主に「買掛金」及び「短期借入金」の減少によるものです。

固定負債の残高は511,784千円となり、前連結会計年度末と比べ112,824千円の減少となりました。これは主に「長期借入金」の減少によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2021年6月に実施した第三者割当増資による「資本金」「資本準備金」の増加等により、前連結会計年度末と比べ304,340千円増加し、3,456,147千円となりました。この結果、自己資本比率は50.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月30日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,080,746	2,969,226
受取手形及び売掛金	2,611,071	2,395,148
電子記録債権	81,170	117,668
有価証券	10,000	10,000
商品	437,699	508,576
仕掛品	36,682	19,883
その他	65,916	159,422
貸倒引当金	△6,454	△5,946
流動資産合計	6,316,832	6,173,979
固定資産		
有形固定資産	53,012	91,875
無形固定資産		
のれん	65,847	32,923
その他	83,732	57,172
無形固定資産合計	149,580	90,096
投資その他の資産		
投資有価証券	78,765	88,074
その他	280,829	295,492
貸倒引当金	△79,022	△78,416
投資その他の資産合計	280,572	305,150
固定資産合計	483,165	487,123
資産合計	6,799,998	6,661,103
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,421,749	2,289,454
短期借入金	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	214,500	160,800
未払法人税等	12,365	9,368
賞与引当金	75,311	36,103
その他	199,655	197,444
流動負債合計	3,023,582	2,693,171
固定負債		
長期借入金	558,800	438,200
退職給付に係る負債	23,773	24,531
役員株式給付引当金	14,720	21,453
その他	27,314	27,599
固定負債合計	624,608	511,784
負債合計	3,648,191	3,204,955

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	386,305	566,910
資本剰余金	384,233	564,837
利益剰余金	2,360,629	2,313,923
自己株式	△59,803	△59,803
株主資本合計	<u>3,071,364</u>	<u>3,385,867</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,958	3,815
その他の包括利益累計額合計	2,958	3,815
新株予約権	77,484	66,464
純資産合計	<u>3,151,806</u>	<u>3,456,147</u>
負債純資産合計	<u>6,799,998</u>	<u>6,661,103</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	16,225,642	<u>15,396,203</u>
売上原価	<u>14,004,502</u>	<u>13,243,452</u>
売上総利益	<u>2,221,140</u>	<u>2,152,751</u>
販売費及び一般管理費	<u>2,002,485</u>	<u>2,098,197</u>
営業利益	<u>218,654</u>	<u>54,553</u>
営業外収益		
受取利息	608	579
受取配当金	492	596
広告料収入	1,500	1,937
助成金収入	1,253	2,554
その他	2,264	1,711
営業外収益合計	<u>6,118</u>	<u>7,380</u>
営業外費用		
支払利息	2,341	2,822
株式交付費	8,297	10,432
固定資産除却損	447	5,121
その他	799	1,298
営業外費用合計	<u>11,886</u>	<u>19,675</u>
経常利益	<u>212,886</u>	<u>42,258</u>
特別利益		
新株予約権戻入益	281	1,076
特別利益合計	<u>281</u>	<u>1,076</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>213,167</u>	<u>43,334</u>
法人税、住民税及び事業税	47,579	26,377
法人税等調整額	<u>25,527</u>	<u>△21,545</u>
法人税等合計	<u>73,106</u>	<u>4,831</u>
四半期純利益	<u>140,060</u>	<u>38,502</u>
親会社株主に帰属する四半期純利益	<u>140,060</u>	<u>38,502</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	140,060	38,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,460	857
その他の包括利益合計	△1,460	857
四半期包括利益	138,599	39,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138,599	39,360

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	ITサービ ス事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,673,581	6,475,649	16,149,231	76,411	16,225,642	-	16,225,642
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	9,673,581	6,475,649	16,149,231	76,411	16,225,642	-	16,225,642
セグメント利益	169,293	35,760	205,054	13,600	218,654	-	218,654

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業及び放課後等
デイサービス事業等を含んでおります。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	ITサービ ス事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,420,562	6,909,918	15,330,481	65,722	15,396,203	-	15,396,203
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	8,420,562	6,909,918	15,330,481	65,722	15,396,203	-	15,396,203
セグメント利益又は損失 (△)	△29,919	87,563	57,644	△3,090	54,553	-	54,553

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業及び放課後等
デイサービス事業等を含んでおります。